



第一礼拝次第

説教：カ・ヨンドン師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		〃	
プレイズ	「世の初め」 「主イエス神の愛」	〃	
聖書朗読	ヨナ書1:1-10	司会	
祈禱	(旧約聖書p1445)		
賛美	214	会衆	
説教	「起きて呼びかけよ」		
祈禱			
賛美	聖歌472	会衆	
献金			
報告		司会	
頌栄	新生672b	会衆	
祝禱		牧師	



第二礼拝次第

説教：仲本貴子師

司会：渡真利彦文牧師

聖書：使徒言行録15:12-21(新約聖書p243)

メッセージ：「落ち穂のめぐみ」

プレイズ：「イエス様はぶどうの木」「花も」

賛美：新生105 新生656



ファミリー礼拝

聖書：ヨハネ10:7~21

メッセージ：『わたしは「良い羊飼ひ」』

<巻頭言>

「賢く歩む」

牧師 渡真利彦文

わたしの父の故郷である宮古の方言では、若者のことを「ばかむん」と言うそうです。その方言を知らない他の地方から来たある若い教師が、みんなから「ばかむんしんしー」（しんしーは“先生”の意）と言われ、教師を辞めたいと上司に相談しました。相談された上司は、みんなは「若い先生が来たって喜んでるんだよ」と答えたそうです。

愚か者、馬鹿者と言われることは、悲しいことでありおもしろくないことです。しかし、ただ言葉を知らないとか勘違いをしたということではなく、私たちは、本当に愚かな自分に気づくときがあります。本当にひどく情けない自分に時々出会います。そして、愚かな道を歩みたくない、賢い生き方をしたいと心から願いますが、どう修正したらよいか分かりません。しかし、創造主が造られた自然界を通して、また神の言葉である聖書を通して、さらに聖書の中の救い主イエス・キリストに出会うことにより軌道修正することができるのです。

私自身クリスチャンになって驚いているのは、イエス様の御心に喜んで従うことが出来る事です。なぜなら私ほど頑固で、どうしようもない者はいないからです。ですから、イエス様を信じて、新しく造り変えられることが必要なのです。

そこでパウロは勧めます。「愚か者としてではなく、賢い者として、細かく気を配って歩みなさい。時をよく用いなさい。今は悪い時代なのです。」

(エフェソ 5:15-16)

神様と共に正しい道を賢く歩んでいきたいものです。